

ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2025年3月3日時点)

- **ウクライナ軍が露西部クルスク州における作戦及び露領内への無人機攻撃を継続する一方、露軍は、ウクライナ東部への攻勢及びウクライナ全土に対するミサイル・無人機攻撃を継続しつつ、クルスクへの攻勢を強化している模様**

戦闘による人的被害・物的損耗の状況

露軍: **死者約19.8万人**(ゼレンスキー大統領24年12月8日)
: **死者約20万人、負傷者約40万人**(WSJ24年9月17日)
: **死傷者86万人以上**(英国防省25年2月28日)
「ウ」軍: **死者4.3万人**(ゼレンスキー大統領24年12月8日)
: **死者約8万人、負傷者約40万人**(WSJ24年9月17日)
「ウ」市民: **死者12,654人以上、負傷者2万9,392人以上**(UN25年2月21日)

- 英国防省は、**露の死傷者数は3年間で86万人以上**にのぼるとし、露指導部が**死傷者の多さを顧みないこと**、露地上軍が「ウ」軍に対して**数的に優位**であることが、継続的な攻撃を支えていると指摘(2月24日)
- 「ウ」空中攻撃部隊は、**ポクロウスク・ドニプロ間の兵站線**付近に位置するドネツク州**コトリネ**について、**露軍から奪還した**と発表(2月26日)
- 露国防省は、クルスク州において、2月21日に**スヴェルドリコヴォ**、26日に**オルロフカ**、**ポグレブキ**を奪還したと発表
- 露国防省は、2月21日にドネツク州**ナディイウカ**、同州**ノヴォシルカ**、同州**ノヴォオチェレトウヴァテ**、22日にルハンスク州**ノヴォリュビウカ**、23日にドネツク州**ウラクリ**、同州**ノヴォアンドリイウカ**、24日にハルキウ州**トポリ**を解放したと発表

- 「ウ」空軍は、22日から23日にかけて、露軍が**Shahed型攻撃無人機及び様々な囃無人機×267機**で「ウ」を攻撃したと発表。ゼレンスキー大統領は、イラン製無人機の使用開始以来、**最大の無人機攻撃**であった旨表明(2月23日)
- 「ウ」空軍は、22年2月24日以降、露軍の航空機×370機、ヘリ×331機、弾道ミサイル:「キンジャル」×40発、**「イスカデルM/KN-23」×95発**、巡航ミサイル:「カリブル」×550発、「イスカデルK」×95発、Kh-101/Kh-55sm/Kh-555×1,801発、Kh-59/69×460発、その他ミサイル×25発、Shahed型攻撃無人機×14,286機、偵察用無人機×6,900機を撃墜したと発表(2月24日)
- 「ウ」空軍は、25日から26日にかけて、露軍がShahed型等の無人機×177機で「ウ」を攻撃したと表明。「ウ」最大のエネルギー企業DTEKは、**ドニプロペトロウシク州のエネルギー施設**が被害を受けたと発表(2月26日)

- 主要都市(下線は州都)
- ☀ 露軍による攻撃が報じられた主な地点(接触線以外)
- 露軍が占領した地点
- 🟡 侵略開始後に露軍が占領し保持している地域
- 🟦 ウクライナ軍が占領した地域



- 「ウ」対外情報庁長官は、露が25年に、**700万発以上の弾薬や迫撃砲弾、約3,000発の長射程ミサイル**を生産する計画であると発言(2月23日)
- 「ウ」情報総局長は、北朝鮮製ミサイルについて、露専門家により改良され精度が向上しており、今年は148発が露に供給されると発言。また、露が使用する**弾薬の半数が北朝鮮製**であると指摘(2月23日)
- 韓国メディアは、**2月第1週から北朝鮮軍がクルスク州の前線に再び投入され、一部追加派兵もあったと見られると韓国国情院が明らかにした**と報道。他方、**米当局者によれば、これまで追加派兵の動向は見られない**としてきた米国防省の立場に変化はないと報道(2月27日)

国土地理院標準地図を加工

資料源: ウクライナ政府機関ウェブサイト、ロシア大統領府ウェブサイト、ISW等